

平成 23 年 12 月 27 日

ニュースリリース

社団法人 日本物流団体連合会

第1回BCP対策ワーキング・グループを開催

(社)日本物流団体連合会(物流連)は、平成23年12月26日(月)に第1回BCP対策ワーキング・グループを全日通ビル会議室で開催した。

東日本大震災では、直接被災を受けた物流事業者はもとより、被災を受けていない事業者でも、支援物資輸送やサプライチェーン、産業活動の復旧に向けた通常と異なる業務体制が求められたが、BCPを策定をしていた事業者であっても安否確認や被害状況の把握に時間がかかったり、業務再開に向けた外部との調整など、実務への対応に苦慮した現場も少なくなかった。当連合会ではこのような状況を踏まえて、「広域災害に対応し得る物流システム構築の提言」の中で、物流事業者が取り組むべき課題としてBCPの策定や内容の見直しをすべしと指摘したが、このワーキングでは物流事業者がBCPを策定するときの具体的な手引き作りなどを行い進展させるものである。

BCP対策ワーキング・グループ委員はトラック、鉄道、港湾運送、内航海運、外航海運、倉庫、宅配の各業界団体と企業からなる、会議には流通経済大学の矢野教授もオブザーバーとして出席し活発な意見交換を行った。今後は毎月1回のペースで会議を開催し、物流事業者のBCP対策のための作業を進めていく予定である。

以上



(連絡先) TEL : 03-3593-0139 担当 : 早乙女